

中央環境審議会循環型社会部会(第46回:2023年6月5日)

資料2-2 廃棄物処理施設整備計画(案)

頁	施設整備等におけるコストに関連した主な事項
P.9	「施設の建設・維持管理・解体に係る <u>トータルコストを縮減することが必要である。</u> 」
P.12	「…効率的な設備の導入に加え、例えば <u>一部設備を屋外に設置することで建築設備に係る消費電力を削減することも含めた廃棄物処理施設における省エネルギー化、EVごみ収集車の導入、太陽光発電設備の導入やバイオマスエネルギーの利用等を進めるなど、廃棄物処理システムにおける温室効果ガスの排出削減対策を講じる必要がある。</u> 」
P.16	「公共工事入札適正化法の趣旨を踏まえ、入札及び契約の透明性・競争性の向上、不正行為の排除の徹底及び公共工事の適正な施工の確保を図るとともに、 <u>公共工物品質確保法に基づき、総合評価落札方式の導入を推進する。</u> 」



このような廃棄物処理施設整備計画(案)を踏まえると、下記に示す手引き等の見直しが必要と考えられる。

#### 施設の整備等に関連した各手引き等の見直しの必要性

- ・ 廃棄物処理施設の発注仕様書の手引き (平成 25 年 11 月)
- ・ 廃棄物処理施設建設工事等の入札・契約の手引き (平成 18 年 7 月)